

代表質問

用者がいることから、今後も必要な施設として存続していきたいと考えている。

今後の管理運営方式については、施設の利用状況や運営状況を精査・分析し、一体的に検討していく。

質問 選挙における投票率の動向と高齢者対策を伺う。

答弁 高齢社会が進行する中で、高齢者の投票機会の確保や投票環境の向上は重要な課題と捉えており、投票手段の選択肢を広げながら今後も有権者の皆さまのご意見に耳を傾け、有権者一人一人に着目したさらなる投票機会の創出や利便性の向上に努めていく。

質問 公共施設等総合管理計画改定版の中で、計画期間や数値目標の変更があるが、主旨を伺う。

答弁 施設ごとの総合的な現状の分析をもとに、より具体的に個別施設の方向性を示した湯沢市公共施設再編計画との整合性を図る内容に変更しており、数値目標を令和12年までに公共施設

の延べ床面積を20%削減することとしている。

質問 湯沢駅周辺複合施設整備基本計画について、民間活力の導入により、にぎわい創出は図られるのか伺う。

答弁 民間収益施設を誘致する場合は、複合施設に導入する公共機能との相乗効果によって来館者の増加が見込まれ、にぎわいの創出につながると考えている。

質問 市民意見の反映として市民会議を継続するのかを伺う。

答弁 委員の任期は基本計画の策定までとなっているが、多様な観点から大変貴重な意見をいただいている。会議の継続を求める声が上がっていることを踏まえ、今後も継続する方向で調整している。

質問 森林経営意向調査の実施による動向などについて伺う。

答弁 対象となる皆瀬地域の森林所有者346人に意向調査を実施し、314人から回答があり、「所有者自身が管理する」が52%、「市に委託したい」が

35%となっている。

質問 市内において盗伐が疑われる事例が発生していると聞かれますが、その実態などについて伺う。

答弁 森林所有者からすでに提出されている届け出に関し疑義があると相談があり、確認のため森林所有者と林業事業者の双方から届け出の内容について事情聴取した事案があった。

所有している森林を伐採する場合は、森林法に基づく届け出が必要ことから、届け出に誤りがないか確認したが、届出書



類は必要な要件を満たしていません。

質問 誤伐ということなのか。

答弁 その判断はできない。所有者と事業者の言い分が違うので、どちらかの白黒をつけることは市の立場としてできない。

質問 雇用対策と企業誘致対策が一体となった事業展開を図るべきと思うが、考えを伺う。

答弁 地元出身者を中心とした市外在住の学生が就職を希望するような魅力のある企業を誘致することが重要であり、その成果が最大の雇用対策、ひいては地域づくりにもつながるものと考えている。市内への進出企業に関する情報収集を徹底し、雇用の拡大に効果的な企業の誘致に努めていく。